

様式2

3. 利用権の設定等を受ける者(借手)の農業経営の状況等

				整理番号			
氏名又は名称		認定農業者認定の有無		営 農 類 型			権利を取得する土地までの通作距離  km
		有 (認定番号 )	無	水稻 野菜類 果樹類 工芸作物 施設園芸 肉用牛 酪農 養豚 養鶏 その他			

世帯員(構成員)の農作業従事及び雇用労働力の状況					現に耕作又は養畜の事業に供している農用地の面積				主な家畜の飼養状況		主な農機具の所有状況		
続 柄	年齢	専業・兼業の別	年間農作業従事日数	雇用労働力(年間延日数)					種 類	数 量	種 類	数 量	
本 人		専業 ・ 兼業	日	人   日	農地	田				肉 牛	頭	トラクター	台
		専業 ・ 兼業	日					a	a	a	乳 牛	頭	コンバイン
		専業 ・ 兼業	日			畑				豚	頭	田植機	台
		専業 ・ 兼業	日				a	a	a	鶏	羽	乾燥機	台
		専業 ・ 兼業	日		採草放牧地				その他( )		車両( )	台	
		専業 ・ 兼業	日			a	a	a			その他( )		

4. 利用権の設定等をする者(貸手)の農業経営の状況及び貸出事由等

農 業 経 営 の 状 況 等			
	男	女	経営面積
世 帯 員	人	人	田 a
農業従事者	人	人	畑 a

農 家 世 帯 の 状 況			該当○印
専 業	16～64歳以下の男子がいる		
	16～64歳以下の男子がいない		
Ⅰ 種 兼 業	世帯主農業専従		
	世帯主兼農	農 業 主	
		兼 業 主	
	そ の 他		
Ⅱ 種 兼 業	世帯主農業専従		
	世帯主兼農	農 業 主	
		兼 業 主	
	そ の 他		
非 農 家			
不 明			

利 用 権 設 定 等 の 理 由		該当○印
経営委譲年金受給のため		
農 業 廃 止		
兼業による経営縮小		
高 齢 化		
病気等で労力不足		
耕作不便・低生産地のため		
集約部門への転換のため		
期間満了に伴う再設定		
その他( )		
ほ 場 の 整 備 状 況		該当○印
整 備 済		
未 整 備		

## 記 載 要 領

### 【様式1】

- (1) 太線内の必要事項すべてについて記載してください。
- (2) ㉠欄の「利用権の種類」及び「設定種類」は、該当する番号に○印をつけてください。
- (3) ㉠欄の「存続期間」は、利用権設定等の開始・終了年月日とその期間を記入してください。なお、開始日は公告の日以降となるので注意してください。(基本的に申し出を受付けた月の翌々月の初日が公告日となります。)
- (4) ㉠欄の「借賃」は、当該土地の1年分の賃借(期間借地の場合には、利用期間に係る年分の借賃)の額を記入してください。
- (5) ㉡欄は、㉠欄の「利用権の種類」に対応して、該当する番号に○印をつけてください。
- (6) ㉢欄の「地目」は、土地登記簿(固定資産税名寄)に記載されている地目を「台帳」に、現状の地目を「現況」に記載してください。
- (7) ㉣欄の「内容(作目)」は、利用権設定による当該土地の利用目的(例えば水稻・野菜・果樹・農業用施設用地(畜舎)等)を記載し、水田裏作を目的とする賃貸借等の場合にはその利用期間を併記してください。
- (8) ㉤欄の「面積」は、土地登記簿(固定資産税名寄)によるものとし、この地積が著しく事実と相違する場合及び土地改良事業による一次利用の指定を受けた土地の場合には、実測面積を( )書きで2段書きしてください。  
また、1筆の一部について利用権が設定される場合には、〇〇〇㎡の内〇〇㎡と記載し、当該部分を特定することのできる図面を添付するとともに備考欄にもその旨を記載してください。
- (9) 筆数が多く㉤欄に記入しきれない場合は、㉤欄空欄に「別紙のとおり」と記入し、様式1(別紙)を利用してください。
- (10) ㉥欄は、㉤欄の土地の㉢欄以外の権原者(例えば㉢欄が賃借権者である場合の当該土地の所有者)とその権原(例えば所有権)を記載し、同意印を押印してください。㉢欄以外の権原者がいない場合は記載する必要はありません。

### 【様式2】

#### 3. 利用権の設定等を受ける者(借手)の農業経営の状況等

- (1) 太線内の必要事項すべてについて記載してください。ただし、同一公告に係る計画書中にその記載があれば、他はその記載を要しません。
- (2) 「営農類型」欄は、現在経営しているすべての種目について○で囲んでください。
- (3) 「通作距離」欄は、自宅から利用権設定等する土地までの概ねの距離を記入してください。
- (4) 「農作業従事及び雇用労働力の状況」欄は、世帯員(構成員)の内、農作業に従事している者についてのみ記載し、「雇用労働力(年間延日数)」は、世帯内の総数を記載してください。
- (5) 「農用地の面積」欄は、現在耕作等を行っている農用地の面積を記入し、利用権等を設定する土地は含めないでください。

#### 4. 利用権の設定等をする者(貸手)の農業経営の状況及び貸出事由等

- (1) 太線内の必要事項すべてについて記載してください。
- (2) 「農家世帯の状況」、「利用権設定等の理由」及び「ほ場の整備状況」の各欄は、該当する項目の記入欄に○印を記入してください。